白百合女子大学
FD･SD 推進委員会

2025 年度 学生懇話会 報告書

【開催日】 2025 年 12月 2 日（火）12:10～12:50（クララホール）

【グループ】
A グループ「テーマ／キャリア支援」学生4 名（国１年、国２年、英２年、初４年)、トミヤマ（教員)、松下（教務課）
B グループ「テーマ／キャリア支援」学生4 名（英１年、英２年、児３年、初４年)、土井（教員)、宍倉（キャリア支援課）
C グループ「テーマ／宗教学科目」学生3 名（児１年、英３年、国３年)、塚本（教務課）

☆グループ A. ＜大学のキャリア支援について＞
〇１、２年次のキャリア支援課利用について：
・「キャリア研究」の授業でキャリア支援課の利用法を教えるなどして、大学も早期からの利用をサポートしてほしい。また、面談予約の方法などについても、利用時に職員から説明があるとよい。
・大学生活や一般的な話より、１、２年次から将来の就活への不安を解消できるような具体的な情報やアドバイスを希望する。
・初等教育学科で教員を目指す学生は学科教員の支援を受ける部分が大きく、キャリア支援課を利用する機会はあまりないが、それはそれで良い。

〇就活イベント（企業説明会等）について：
・ビジネスマナーや、服装、メイクに関する講座を開いてほしい（全員)。
・説明会などのイベント情報を確実に知ることができるように、授業内でも告知してほしい。またイベント内容がキャリア教育系の授業と重なることがある。
・イベント告知メールを見落とす学生や人数制限があるからと敬遠する学生にも届くよう、告知方法や参加しやすい仕組みが工夫されると良いのではないか。
・取るべき資格がはっきりしている学科（初等教育学科）と、そうではない学科がある。就職に有利な資格や語学テストなどについて教えてもらえる講座があるとうれしい。

☆グループ B. ＜大学のキャリア支援について＞
〇キャリア支援課の場所・配置について：
・現在のロケーションは気軽に行きにくい。職員の方は優しかったがそれでも気後れしてしまう。→先輩から：資料ブースの方なら、より気楽に情報が閲覧できる。
・個々の職員の方との相談について：個別紹介（得意分野など）を見て予約を取りたいが、

その情報が窓口に出ていて気軽に見に行きにくいので、Campus Square に出したり、もっと横の方に案内を置いたりしてもらえると見やすい。

〇キャリア支援課の利用開始時期について：
　・2025 年度から、文学部 1 年次生は前期に全員キャリア・アドヴァイザーとの面談がある。これをきっかけにキャリア支援課の存在を意識できた。
　・3 年次開始早々にインターンシップの締め切りがある場合もあり、早めに情報を確認するほうが良い。

〇就活イベントについて：
・OG 訪問のきっかけになるなど役に立った。
・対面だけでなく録画してオンデマンド配信もしてほしい。
・就活用メイクや服装、ビジネスマナーの講座を増やしてほしい。

〇キャリア支援課の活用法について：
・キャリア支援課には何が用意されていてどんなことができるのかが初心者には分かりにくい。本当は、面接や書類選考対策の個別指導の他にも、資料（インターンシップや OG 訪問の業界別情報の資料ブース、SPI 対策本など）、個人スペースがオンライン面接やグループディスカッションに使えるなどメリットがたくさんある。もっと利用のメリットをオンラインで公開し、PR してほしい。
　・「キャリア研究」の授業内で、キャリア支援課の活用法についてもっと具体的に紹介してほしい。（学科によって授業内の情報提供にバラつきがある。）

☆グループ C. ＜宗教学科目について＞
〇授業内容について：
・高校でもキリスト教の授業があったことで白百合に魅力を感じたが、大学ではより深い学びがある。また学科の専門にもキリスト教学と結びついた学びがある。
・高校でキリスト教について学んだ時は理解し切れないところもあったが、大学では体系的に学べるので分かりやすい。
・音楽と宗教史の授業、映画を教材に使うなどの工夫があり面白い。
・「なぜ人を殺してはいけないのか」というテーマの授業が印象的だった。
・２年次の授業で見た映画の抜粋に興味を持ち、家で全体を通して見た。社会問題にもつながる内容で初めての気づきがあった。
・毎回の配布資料が使いやすい。参考資料紹介や、学科の専門に関連する内容をもっと取り上げてほしい。

〇成績評価について：
・授業の最初に、前回授業についての履修者の感想を教員が紹介してくれたのは良かった。
・他の授業にくらべ評価の基準が分かりにくい。低い評価がついた場合も理由が分かりづらいため、フォローやフィードバックがあると嬉しい。
・レポートで自己開示をすることも多いが、どこまで開示するか迷う。
・成績評価があることを考えると、レポートでの自己開示が難しいことがある。
・正解／不正解のない授業のため、成績ではなく単位認定（可か不可）による評価も検討してはどうか。

〇今後の展望について：
・ガイダンスか各授業内で、宗教科目のレポート執筆のコツなどを説明してもらえると参考になる。
・構内にチャペルがあるので、授業でもっと使ってはどうか。
・座学が多いので、授業外活動やイベント的な内容もほしい。

＜懇話会を振り返って＞

今回の懇話会には、5つの学科から、学年も1～4年次にわたる様々な学生が参加してくれた。限られた時間内での話し合いであったが、各グループとも、話題提供や進行も含め学生が主体的に活動し活発な意見交換が行われた。最後に各グループの話し合いの概要を代表学生1名に発表してもらい、全体での意見共有の機会を持った。

2つのグループでキャリア支援について取り上げたが、どちらのグループでも、学科間の差はあるもののキャリア支援課をもっと利用したいという希望が強く、本学の少人数教育という強みを生かし、外部業者より学内の支援を求める学生が多いことが明らかになった。実際に就活を経験した学生からはキャリア支援課の様々なサービスが役立ったとの報告があった一方で、特に1、2年生では最初のアクセスにハードルを感じているとの声が聞かれた。

今後、キャリア教育関連授業との連携強化やCampus Squareなどの活用により学生へのアプローチをさらに工夫していくことで、より多くの学生のキャリア支援課利用を促進できると考えられる。

また学生同士の対話により、オンラインと対面のインターンシップの違い、IT関連資格についてなど、3・4年生が実際に就活に取り組んだ経験談やアドバイスが下の学年の学生に共有されていた。

本学独自の教育の魅力の1つである宗教学科目については、高校で宗教の授業を受けた経験のある学生と大学で初めて学ぶ学生とのいずれもが学びの意義を感じ、学科の専門分野との関連や現代社会への視点など、自己の関心とつながる気づきを得ていることが分か

った。
　その一方で、個人の内面に関わる宗教学科目特有の難しさともいえるが、評価基準に関してはより丁寧な説明やフィードバックへの要望も出された。

＜大学からのフィードバックについて＞
　今回の懇話会で出された意見について、グループＡ・Ｂの「キャリア支援」にはキャリア支援課より、またグループＣ「宗教学科目」にはカトリック教育センターより以下のフィードバックが寄せられている。この場をお借りして掲載させていただくこととしたい。
　**********
・グループＡ・Ｂ「キャリア支援」：
　学生懇話会では、各学科の学生より「ESの書き方やSPIの対策について教えてもらって役に立っている」、「ＯＧからお話しを聞くイベントは参考になった」等の好意的な意見、「ビジネスマナーやメイクの講座を増やしてほしい」、「アクセスが悪い」、「都合が悪く出席できなかった講座の録画を公開してほしい」等の要望を聞くことができ、とても有意義な会であった。
　要望の中にはキャリア支援課で実施している施策もあったが認知されていないこと、こちらの趣旨が伝わっていないことが分かった。学内ポータルサイト、葉書、SNS 等様々な媒体を使用して情報を発信しても学生に届かない場合もあるので、改めて学生への案内方法について考えていきたい。また、今回の意見や要望を実現できるように取り組んでいきたい。
（キャリア支援課　深沢・宍倉）

・グループＣ「宗教学科目」：
　これらの学生からの意見を受け、カトリック教育センターでは、授業の意義や評価の在り方についてあらためて共有・検討する必要があるとの認識を深めた。そこで、学生の声を手がかりに教育実践を振り返り、今後のより良い教育活動へとつなげることを目的として、2026年3月19日（木）に講師会においてFDを実施することとした。学生の要望を真摯に受け止め、教育内容の充実に還元していくための機会としたい。
（カトリック教育センター　海老原）
　**********
　参加者への事後アンケートでは、「普段は交流する機会のない他学科・他学年の参加者と、密度の濃い話し合いができて良かった」との感想が多数寄せられた。昼休み時間を割いて参加し、貴重な意見を共有してくださった皆さんに改めて心から感謝申し上げる。
　今回の懇話会で得られた意見が本学の教育の一層の充実に役立つことを期待すると共に、今後も、学生の皆さんの声に耳を傾け、本学がより良い教育環境を提供できるよう努めていく所存であることを述べて、報告書を締めくくりたい。